

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	水道メーター設置環境整備業務事業				事業コード	1229
担当課等	所属名	上下水道局 料金課		担当係名		
	課長名	佐々木正宏	担当者名	上野 正一	電話番号	6104

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード 5
	基本事業	安定給水の確保	コード 1			関連予算 費目名
	特記事項					
	事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 63年度～)	
事務事業の概要	給水装置に設置されている水道メーターの交換不能の是正及び難検針箇所の是正等のため、水道メーター設置環境の整備を行うもの					
根拠法令等	水道法, 計量法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
止水栓不良及び水道メーター接続配管部分の老朽化等により、水道メーター交換が困難な状況から、水道メーター周辺環境を整備するため開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
なし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
建物の増改築等のより、難検針箇所が発生している。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	・給水装置に設置されている水道メーター設置箇所 ・検針業務を行っている給水装置の数	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 給水装置に設置されている水道メーター設置箇所	単位	箇所
				B. 検針業務を行っている給水装置の数	単位	箇所
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 水道メーター交換業務に伴う交換不能箇所、難検針箇所、異常メーター等発生 の報告を受け、修繕業務を実施し水道メーター設置環境を整備する。 ・現地調査を行った後に ①指定給水装置工事事業者へ修繕業務委託 ・水道使用者との連絡調整 ・現地立会 ・完成確認および業務費の支払い ②直営で修繕 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 水道メーター交換業務の伴う交換不能箇所、難検針箇所及び異常メーター等の報告を受け、修繕業務を実施し水道メーター設置環境を整備する。 ○現地調査 ①指定給水装置工事事業者への修繕業務委託 ・水道使用者との連絡調整 ・現地立会 ・完成確認及び業務費の支払 ②直営での修繕 ・水道使用者との連絡調整	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 水道メーター付近の環境整備を行なった箇所(水道メーター交換に伴う修繕必要箇所、難検針箇所、異常メーター等の発生箇所)	単位	箇所
				B. 物積、積雪等による検針不能箇所(延件数)	単位	箇所
				C. 誤検針を行った検針箇所(延件数)	単位	箇所
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	水道メーター付近の環境を整備することにより、検針業務の円滑化を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 給水装置に設置されている水道メーター設置箇所のうち水道メーター付近の環境整備を行なった箇所の割合率((整備箇所/設置箇所)×100) 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
				B. 検針業務を行っている給水装置の数のうち、物積・積雪等による検針不能箇所(延件数)の割合率((検針不能箇所/検針箇所)×100) 【指標の性格:○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 検針業務を行っている給水装置の数のうち、誤検針を行った検針箇所(延件数)の割合率((誤検針箇所/検針箇所)×100) 【指標の性格:○ 上げる ● 下げる ○ 維持する】	単位	%
⑦結果	安全でおいしい水が安定供給される	⇒	⑧上位成果	有効率(単位:%) 耐震化率(単位:%)		

(上位基本事業 の意図:上位の 基本事業(どの ように貢献する か))		指標 (上位基本事業の 成果指標)	残留塩素(単位:mg/l)
---	--	-------------------------	---------------

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	給水装置に設置されている水道メーター設置箇所	箇所	118877	120,251	121,377	128,754	128,754	128,754	年度
対象 指標B	検針業務を行っている給水装置の数	箇所	822140	824,962	825,000	859,026	859,026	859,026	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	水道メーター付近の環境整備を行なった箇所(水道メーター交換に伴う修繕必要箇所、難検針箇所、異常メーター等の発生箇所)	箇所	399	302	290	249	240	240	年度
活動 指標B	物積、積雪等による検針不能箇所(延件数)	箇所	4618	6,309	6,000	44,704	6,000	6,000	年度
活動 指標C	誤検針を行った検針箇所(延件数)	箇所	280	496	0	290	0	0	年度
成果 指標A	給水装置に設置されている水道メーター設置箇所のうち水道メーター付近の環境整備を行なった箇所の割合率((整備箇所／設置箇所)×100)	%	0.34	0.25	0.24	0.19	0.19	0.19	年度
成果 指標B	検針業務を行っている給水装置の数のうち、物積・積雪等による検針不能箇所(延件数)の割合率((検針不能箇所／検針箇所)×100)	%	0.56	0.76	0.73	5.20	0.70	0.70	年度
成果 指標C	検針業務を行っている給水装置の数のうち、誤検針を行った検針箇所(延件数)の割合率((誤検針箇所／検針箇所)×100)	%	0.03	0.06	0.00	0.03	0.00	0.00	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	25,058	20,678	19,700	19,699	18,715	18,715	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	25,058	20,678	19,700	19,699	18,715	18,715	*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	25,058	20,678	19,700	19,699	18,715	18,715	*****
延べ業務時間数		時間	1,480	1,490	1,490	1,490	1,490	1,490	*****
職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	5,920	5,960	5,960	5,960	5,960	5,960	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	30,978	26,638	25,660	25,659	24,675	24,675	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性 評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☐ 向上余地がある ☒ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☐ 類似事業がある ☒ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性 評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性 評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 水道使用者へのPRや検針員への指導など
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 積雪等の自然が相手であり、予測できない部分がある。

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	 (2)全体総括(振り返り、反省点) 安心・安全な水道水を供給し正確な料金を算定するため、メーター回りの環境整備については指定給水装置工事事業者へ修繕工事として委託し、適切な検針環境に配慮している。			
	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1"><tr><td>☐ 終了 ☒ 継続</td><td rowspan="2"></td><td>☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td></tr><tr><td>☐ 廃止 ☐ 休止</td><td>☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携</td></tr></table> 方向付けの理由と改革改善の内容 安心・安全な水道水を供給し正確な料金を算定するため、メーター回りの環境整備については、指定給水装置工事事業者へ修繕工事として委託しているが、今後、包括外部委託の中に含めることができるか、また、効率的な発注について検討する余地はある。		☐ 終了 ☒ 継続		☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
☐ 終了 ☒ 継続		☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			
☐ 廃止 ☐ 休止		☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携			